

先進事例：日本生命保険相互会社



【主な取組と結果】

2024年2月

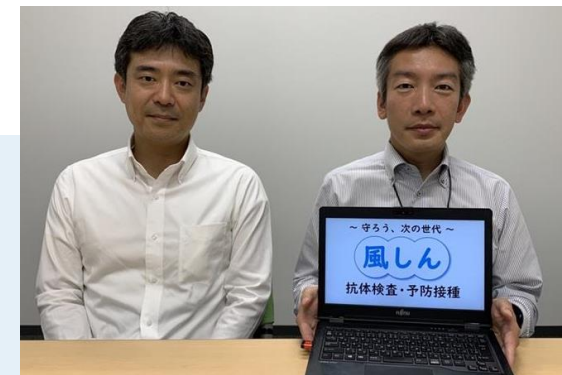
- ・全職員向けに風しんや抗体検査について情報発信
 ＜内容＞
 - ・風しんについて（自身の健康だけでなく、妊婦が感染すると赤ちゃんに障がいがあることを周知）
 - ・厚生労働省の抗体検査・予防接種事業について（目的、検査の流れ、自治体のクーポンで無料で可能等）
 - ・医療機関検索サイト（[CiDER](#)）の紹介
- ・デジタルサイネージ（右図）等で風しん抗体検査を案内
- ・抗体検査事業の対象の職員約3400人に勧奨メールを発信
- ・厚生労働省主催の啓発イベントに参加（[youtube動画配信](#)）
 ⇒当社公式SNSでも動画を紹介

2024年4月～

- ・隔月24日（風しんの日）に、抗体検査事業の対象の職員約3400人に勧奨メールを継続発信

2024年6月

- ・定期健康診断・人間ドックを提携している一部の医療機関と追加の採血なしで風しん抗体検査を受けられるよう調整した上で、受診予定者に対して案内・勧奨。



【取組の背景】

日本生命では、抗体検査事業が2025年2月で終了することを受け、従業員・お客様への感染リスクを軽減するために、1年前の2024年2月より従業員への積極的な受検勧奨を開始しました。

NHKラジオ（NHKジャーナル）や特設サイトでも取組を紹介しています

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/stopfushin/news/20240826coupon/index.html>